

③一般社団法人とまりぎ (日南町)



大人と子どもが学び合い、誰でも集っていい「居場所」となることを目指して日南町を拠点に活動。絹糸の原料となる蚕を育てる体験や里山の暮らしを体験するプログラムなど世代を超えた交流を通し、子どもたちの自立や、わくわくを実現するための体験活動を実施している。

学校や行政ではできない体験を「民」から子どもたちに提案しようとして2022

誰もが集える「居場所」に

草木染の原料となるトウダナンツジの葉を摘む「子ども道場」の参加者ら＝南部町下中谷



年に結成し、今年4月に一般社団法人化した。

8月19～21日には、ミラ・クル・とっとい運動推進補助金を活用して2泊3日の「子ども道場」を初開催。鳥取県西部と岡山県の小学5年～中学1年の17人が参加し、草木染や民泊、トマ

トの収穫体験など里山の暮らしを満喫した。

弓ヶ浜小5年の山根縁さん(10)は「草木染の葉っぱを採るのが楽しかった」と笑顔。20～80代のメンバー14人と大学生ボランティア5人が「伴走者」となり、学びのヒントを与えながら子どもたちを見守った。

伊田典穂代表理事は「関わる人がわくわくし、共に成長できる体験をつくっていききたい。関係人口の増加や地域文化の継承にもつながれば」と話す。今後は、子ども食堂など食と人の絆を結ぶ「おしゃべりWA食ラボ事業」や、加工品の販売を行う「とまりぎショップ」などにも取り組む。